

令和5年度

事業報告書

公益財団法人 川崎市シルバー人材センター

令和5年度事業報告

概要

令和5年度は、ウクライナや中東などの世界情勢の緊迫化によるエネルギー価格の高騰や、急激な円安の進行による物価上昇など世界経済への影響も大きく、わが国においても物価上昇率が40年ぶりに高水準になるなど社会経済環境に大きな変化が生じた1年でした。

一方、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症に移行したことで、これまで自粛を要請されていたイベントの復活や国内外への旅行客の増加等があり、コロナ禍から経済社会活動の正常化が進み、緩やかな景気回復の動きが今後も期待される場所です。

このような状況の中、川崎市シルバー人材センター（以下「当センター」という。）においても自粛要請の解除に伴い、普及啓発活動及び受注拡大に向けた活動を再開することができましたが、令和4年末を以て公共からの大口受注が一部終了したことなどの影響もあり、昨年度に比べ令和5年度の契約金額は減少となりました。

会員数につきましては、区民祭でのPR活動、タウン情報誌への会員募集記事の複数回掲載、老人福祉施設での会員募集広告入ポケットティッシュの配布などの従来からの取組に加え、令和4年度から開始した「家族・友人紹介制度」を通年でPRしたことや区役所やハローワークでの出張入会説明会を新たに開催した結果、令和4年度の入会者数である473人を上回る529人の入会者がありました。しかしながら、令和5年度末に会員アンケートを実施したことにより、それまで退会を控えていた方から退会の申し出があり、昨年より退会者が増加したため会員増加数は前年度を下回りました。

社会全体のデジタル化が急速に進展している中、当センターにおいても国のシルバー人材センター等デジタル化整備促進事業などを活用したデジタル化の取組を令和5年度から開始しました。具体的には当センターのデジタル環境の整備、Web入会の試行、会員と仕事の的確なマッチング等の業務効率化に資するシステム（Smile to Smile）の導入、スマホ講習会・相談会等を実施しました。今後も業務の効率化に資する取組や会員のICTリテラシー向上に資する取組を継続的に行い、デジタル化を推進してまいります。

令和6年秋頃には特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律（以下、「フリーランス法」という。）の施行が予定されており、全国シルバー人材センター事業

協会からは発注者、センター、会員間の契約方法の見直しが求められています。フリーランス法では、特定業務委託事業者（発注者）は特定受託事業者（フリーランス=会員）に対して、就業前に書面又は電磁的方法のいずれかの方法によって就業条件の明示義務が課されることになり、事務量の大幅な増加が予想されます。この他にもフリーランス法施行と同時期に、郵便料金の値上げが予定されており、事務及び経費負担を軽減するためにもデジタル化の対応を進めてまいります。

今後も更なるデジタル化推進のための取組等を検討・実施することで、新規会員の獲得や新規顧客の開拓等による受注拡大に繋げられるよう役職員と会員が一丸となって取り組んでまいります。

葬祭場運営事業については、平成26年度から「かわさき南部斎苑」及び「かわさき北部斎苑」の指定管理者として民間事業者と共同で事業運営を行っています。

令和5年度は、第4期指定管理（令和2年度～令和6年度）の4年目でしたが、火葬件数については、令和4年度に比べ368件増の13,409件でした。

年々増加し続ける川崎市の死亡者数に対応するため、南北斎苑での夏期・冬期の友引日開苑や、南部斎苑に比べて火葬需要が多い北部斎苑の火葬件数を1日24件から26件に増やしたことにより、令和5年度火葬計画の12,500件を上回る件数の火葬を実施することができました。

I 公益目的事業－1（シルバー人材センター事業）

1 会員の増強と育成

令和5年度は、会員増強を図るため、昨年同様に川崎市が満70歳の市民に発送する高齢者特別乗車証明書に会員募集チラシの同封、タウン情報誌への募集記事の掲載、昨年から開始した「家族・友人紹介制度」の推進、女性会員入会促進として女性会員募集チラシを関係各所へ配架するなどの取組を着実に実施してまいりました。

こうした取組に加え、新たな入会促進活動として区役所及びハローワークでの出張入会相談会の実施、Web上で入会予約受付等を実現するWeb入会システムの試行導入を行いました。

以上の取組などを行った結果、新規入会者数は529人、会員数は6,515人で、前年度に比べ206人（3.3%）の増加となりました。

新規会員の入会動機の上位3位は、「健康維持・増進」33.1%、「経済的理由」30.8%、「生きがい、社会参加」21.9%で、一昨年度、昨年度1位だった「経済的理由」が今年度は2位となり、1位は「健康維持・増進」となりました。あるアンケート調査でも、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症に移行後、「健康への意識が高まった」という回答が増加したとの結果も出ており、コロナ禍において健康の大切さを実感した影響からか、健康への意識が高まったのではないかと推測されます。

植木・除草班の組織活動では、各事務所にて新人説明会等を積極的に行って新規班員の加入を促し、班員の増強を図りました。

会報誌「シルバーかわさき」については、昨年度からはじめた頭の体操にもなるクロスワードパズルや間違い探しを継続するとともに、「Smile to Smile」のお知らせなどを掲載し、誌面の充実を図りました。

他にも4年ぶりに地域班による普及啓発活動等を本格的に再開したことや、女性を重点とした会員拡大を意図したポスターの作成などを行いました。

◇会員数・会員の状況

	令和4年度末 会員数	令和5年度		増加数	令和5年度末 会員数	前年度対比
		入会者数	退会者数			
男 性	4,080 人	309 人	205 人	104 人	4,184 人	102.5%
女 性	2,229 人	220 人	118 人	102 人	2,331 人	104.6%
合 計	6,309 人	529 人	323 人	206 人	6,515 人	103.3%

◇事務所別入会登録会員数

	入会登録会員数		
	男性	女性	合計
南 部	123 人 (107 人)	112 人 (72 人)	235 人 (179 人)
中 部	85 人 (73 人)	41 人 (51 人)	126 人 (124 人)
北 部	101 人 (105 人)	67 人 (65 人)	168 人 (170 人)
合 計	309 人 (285 人)	220 人 (188 人)	529 人 (473 人)

※()内は令和4年度の実績

◇入会動機

	健康維持 ・増進	経済的理由	生きがい、 社会参加	時間的余裕	仲間作り	その他	計
男 性	111 人 (77 人)	93 人 (86 人)	58 人 (61 人)	43 人 (55 人)	3 人 (4 人)	1 人 (2 人)	309 人 (285 人)
女 性	64 人 (39 人)	70 人 (55 人)	58 人 (62 人)	24 人 (28 人)	2 人 (1 人)	2 人 (3 人)	220 人 (188 人)
合 計	175 人 (116 人)	163 人 (141 人)	116 人 (123 人)	67 人 (83 人)	5 人 (5 人)	3 人 (5 人)	529 人 (473 人)
割 合	33.1% (24.5%)	30.8% (29.8%)	21.9% (26.0%)	12.7% (17.5%)	0.9% (1.1%)	0.6% (1.1%)	100% (100%)

※()内は令和4年度の実績

◇新規入会会員の促進活動

配布・掲載媒体等	活動・掲載期間	活動及び掲載内容	配布・設置部数
会員募集・仕事依頼 A 4 チラシ	通年	地域包括支援センター、老人いこいの家、老人福祉センター、社会福祉協議会（市・区）にチラシを配架等	随時補充
	通年	各区役所、支所、出張所等庁舎にてチラシの配架	随時補充
会員募集 B 5 両面チラシ	毎月 1 回	川崎市が市内在住で満 70 歳の高齢者に郵送する高齢者特別乗車証明書の封筒に同封	16,900 枚
会員募集・仕事依頼 ティッシュ配架	10/1～	川崎区を除く各区の老人福祉センターにチラシ付きポケットティッシュを配架	1,500 個
川崎市協働連携ポータルサイトつなぐつど KAWASAKI 掲載	通年	当センターの会員募集案内を掲載	-
地域情報誌掲載 タウンニュース	7/21 号 10/20 号	地域情報誌タウンニュースにて会員募集記事を掲載	全市
アゼリア川崎 川崎市広報 コーナー展示 (市役所通り側)	3/15～3/29	当センターの会員募集及び仕事募集のパネル展示	1 箇所
介護・予防いきいき 大作戦啓発イベント での活動	1/26	高津市民館で高齢者在宅サービス課主催の啓発イベントにて会員募集のチラシ等を配架	100 枚
人生 100 年時代に備える地ケアフェアでの活動	3/9	川崎市役所本庁舎で地域包括ケア推進室主催の啓発イベントにてブースを設け会員入会相談等の実施	-
中原区役所での出張入会説明会の開催	8/22	中原区役所で、相談員とセンター職員による入会説明及び登録受付等の実施	-
ハローワーク川崎での出張入会相談会の開催	10/6	ハローワーク川崎で、相談員とセンター職員による入会説明及び就業相談等の実施	-

◇会報編集委員会開催状況

開催日	内 容 (会員・職員編集委員による会報誌の編集会議)	出席 人数	事務所
6/23	会報誌第90号(4月号)について、第91号(7月号)の編集について、第92号(10月号)の編集について等	10人	本 部
9/22	会報誌第91号(7月号)について、第92号(10月号)の編集について、第93号(1月号)の編集について等	10人	本 部
12/22	会報誌第92号(10月号)について、第93号(1月号)の編集について、第94号(4月号)の編集について等	9人	本 部
2/22	会報誌第93号(1月号)について、第94号(4月号)の編集について、第95号(7月号)の編集について等	10人	本 部

◇会報誌の発行部数

発行号	第90号	第91号	第92号	第93号
発行月	令和5年4月	令和5年7月	令和5年10月	令和6年1月
発行部数	6,900部	7,000部	7,100部	7,200部

◇ホームページ閲覧状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数	2,087件 (1,924件)	2,686件 (2,505件)	2,628件 (2,355件)	2,480件 (1,825件)	2,342件 (1,959件)	2,325件 (2,102件)	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	2,549件 (2,153件)	2,321件 (1,749件)	2,374件 (1,463件)	2,164件 (2,253件)	2,290件 (3,215件)	2,245件 (2,682件)	28,491件 (26,185件)

※()内は令和4年度の実績

◇地域班会議開催状況

会 議 名	開催日	内 容	出席 人数	事務所
全体連絡会議	7/20	地域班活動等、令和4年度事業報告について	15人	本 部
	3/26	令和6年度活動計画(案)、近況報告について	21人	
事務所連絡会議	9/8	地域班活動状況と今後の活動について	11人	南 部
	2/19	地域班活動報告について	11人	
	9/14	普及啓発月間活動等について(配布活動等)	5人	中 部
	1/26	普及啓発月間活動等について(配布活動等)	6人	
	9/20	令和5年度北部事務所地域班活動計画について等	10人	北 部
	2/19	令和6年度北部事務所地域班活動計画について等	9人	

◇職群班活動状況

職群班	会 議 名	開催日	内 容	事務所
除草班	事務所グループリーダー会議	2/16	新体制や事故等について	中部
	事務所グループリーダー会議	2/26	次年度グループ編成等について	北部
植木班	事務所グループリーダー会議	5/11	グループ編成、事故等について	南部
	事務所グループリーダー会議	2/19		
	事務所グループリーダー会議	2/16	新体制や事故等について	中部
	事務所グループリーダー会議	2/26	次年度グループ編成等について	北部

◇講習会、研修会等実施状況

講習名	開催日	内 容	参加人数	会 場
除草説明会	4/4	センターで初めて除草作業をする方への除草班の仕組み及び作業方法等の説明	各1人	中部事務所
	4/14			
	4/26			
	8/8		4人	北部事務所
	5/19		1人	
	7/31		3人	
	1/19		2人	
	2/20		1人	
植木説明会	5/11	センターで初めて植木作業をする方への植木班の仕組み及び作業方法等の説明	2人	南部事務所
	5/22		1人	中部事務所
	11/13		2人	北部事務所
	1/23		1人	
植木班グループリーダー研修会	9/15	植木班グループリーダーの職務等について	各1人	中部事務所
	11/7			北部事務所
	1/9			中部事務所
	1/24			北部事務所
塗装説明会	6/28	センターで初めて塗装作業をする方への作業方法等の説明	1人	北部事務所
マンション管理講習会	11/29	マンション管理の基礎知識と実技等	21人	本 部

2 就業機会の拡大・受注開拓

川崎市に対して新規受注の依頼を積極的に実施するとともに、区民祭等のイベントに参加し、PR活動などを行った結果、昨年度に比べて、受託事業の受注件数は25件(0.5%)増加し、5,374件となりました。契約金額については、市が行っている健康ポイント事業(かわさきTEKTEK)について、イベント等での広報支援業務や市営駐輪場の移転に伴う自転車等放置防止・案内業務等の公共受注の新規発注がありましたが、昨年度に比べ約5,018万円(5.4%)減少し、約8億7,846万円となりました。

一方、労働者派遣事業については、派遣先の手スーパーが当センターへの業務発注を一部削減していることなどから、契約金額は昨年度と比べ、約825万円(9.8%)減少し、約8,383万円となりました。

さらなる就労場所の確保に向け、就業機会創出員の増員について検討を行い、令和6年度に向け、新たに創出員1名を選任し2名体制としました。

◇職群別契約実績状況

	令和4年度			令和5年度			
	受注件数 (件)	契約金額 (円)	構成比 (%)	受注件数 (件)	契約金額 (円)	構成比 (%)	前年度対比 (%)
技術 パソコン指導等	12	2,634,709	0.3	12	2,806,748	0.3	106.5
技能 植木、大工、塗装、 襖・障子の張替等	2,014	62,871,751	6.8	1,994	57,820,420	6.6	92.0
事務 受付事務、宛名書き 筆耕等	32	13,556,589	1.4	24	8,577,913	1.0	63.3
管理 放置自転車対策、 駐輪場管理、 施設管理	183	235,746,182	25.4	134	172,529,686	19.6	73.2
折衝・外交 販売、配達、配布等	5	3,512,230	0.4	7	4,150,288	0.5	118.2
軽作業 清掃、除草、 カゴカート整理等	2,757	565,114,199	60.8	2,853	589,497,791	67.1	104.3
サービス 家事援助、子育て支 援、福祉施設での仕 事等	346	45,206,146	4.9	350	43,082,232	4.9	95.3
合計	5,349	928,641,806	100.0	5,374	878,465,078	100.0	94.6

◇公共・企業・個人別実績状況

	令和4年度			令和5年度			
	受注件数 (件)	契約金額 (円)	構成比 (%)	受注件数 (件)	契約金額 (円)	構成比 (%)	前年度対比 (%)
公共	171	147,331,733	15.9	114	83,007,725	9.4	56.3
企業	1,091	651,186,110	70.1	1,107	666,674,881	75.9	102.4
個人	4,087	130,123,963	14.0	4,153	128,782,472	14.7	99.0
合計	5,349	928,641,806	100.0	5,374	878,465,078	100.0	94.6

◇就業会員実績

	令和4年度	令和5年度	前年度対比
就業実人員	1,801人	1,806人	100.3%
就業延日数	209,218人日	192,328人日	91.9%
配分金額	828,698千円	785,799千円	94.8%
1人月平均就業日数	9.6日	8.9日	92.7%
1人月配分金額	38,344円	36,259円	94.6%
就業率	28.5%	27.7%	0.8ポイント減

◇福祉・家事援助・子育て支援事業実施状況

区分	受注件数	就業延人員	契約金額
福祉サービス	12件	1,782人日	8,078,793円
家事援助サービス	312件	8,420人日	24,916,012円
子育て支援サービス	15件	698人日	1,335,959円
合計	339件 (339件)	10,900人日 (12,509人日)	34,330,764円 (38,904,323円)

※()内は令和4年度の実績

◇地域サポート事業実施状況

受注件数	就業延人員	契約金額
145件 (155件)	306人日 (302人日)	942,362円 (981,243円)

※()内は令和4年度の実績

◇就業機会創出活動状況

創出員数	活動日数	訪問件数合計	新規	既存
1人	120日	733件	448件	285件

◇コーディネーター活動状況

職種	人数	活動日数	会議日数	訪問面談件数 (コーディネート)
家事援助・子育て支援	5人	78日	2日	72件

◇家事援助・子育て支援チラシ配架

チラシ種類	活動及び掲載内容	期間
家事援助・子育て支援チラシ	各区役所庁舎管理担当課への事業説明とチラシの配架依頼	随時補充

◇事業の普及啓発及び広報活動状況

配布物内容等	実施期間 (掲載期間)	方法等	配布枚数
ひとり親家庭サポート ガイドブック	通年	川崎市発刊のひとり親家庭向けガイドブックに掲載 (家事援助・子育て支援案内)	7,000部
ホッとこそだて・たかつ (子育て情報ガイドブック)	通年	川崎市発行の子育て情報ガイドブックに掲載 (子育て支援案内)	7,000部

◇会員及び班等による普及啓発・広報活動状況

活動項目	実施日 (期間)	実施 事務所	参加 人数	活動内容
地域班によるチラシ 配布活動	10/2 ～10/30	南部	14人	川崎・幸・中原区の個人宅に チラシ配布 (7,000枚)
	2/21 ～3/11		11人	川崎・幸・中原区の個人宅に チラシ配布 (5,500枚)
	9/16 ～10/31	中部	8人	高津・宮前区の個人宅に チラシ配布 (3,630枚)
	2/1 ～2/29		6人	高津・宮前区の個人宅に チラシ配布 (3,000枚)
	10/1 ～10/20	北部	9人	多摩・麻生区の個人宅に チラシ配布 (5,000枚)
	3/1 ～3/22		10人	多摩・麻生区の個人宅に チラシ配布 (5,000枚)
区民祭でのPR活動	10/21	南部	9人	「幸区民祭」でのPR活動 ポケットティッシュ配布 (2,500個)
	10/15	中部	8人	「宮前区民祭」でのPR活動 ポケットティッシュ配布 (1,500個)
	10/8	北部	5人	「あさお区民まつり」でのPR活動 ポケットティッシュ配布 (1,500個)

◇労働者派遣事業（シルバー派遣事業）実績

派遣登録会員数	受注件数	主な受注内容	契約金額
405人 (409人)	284件 (325件)	スーパー食品等での加工部門業務、 商品管理業務等	83,836,924円 (92,091,921円)

※()内は令和4年度の実績

◇労働者派遣事業に係る職員向け講習会・研修会出席状況

開催日	内 容	出席人数	会 場
8/18	全シ協※1主催 派遣元責任者講習会	3人	連合会館

※1 公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

◇労働者派遣事業に係る派遣会員向け研修会開催状況

開催日	内 容	出席人数	開催形式
11/6	派遣で働くということ・ハラスメントについて等	12 人	横浜市西公会堂

◇労働者派遣事業に係る会議等の出席状況

会 議 名	開催日	内 容	出席人数	会 場
派遣事業推進会議	7/18 10/16 1/16 2/29	県シ連※2主催の派遣事業の担当による会議	各1人	かながわ労働プラザ
派遣労働会員就業規程の改正に係る政令市打ち合わせ	2/21	連合会派遣労働会員就業規程の改正に係る内容確認及び社労士による勉強会等	2名	かながわ労働プラザ

※2 公益社団法人神奈川県シルバー人材センター連合会

◇高齢者有料職業紹介事業実施状況

求人相談件数	求人登録件数	求職相談件数	求職登録数	就職数	紹介手数料
0 件	0 件	0 件	0 人	0 人	0 円

◇高齢者職業紹介責任者講習会出席状況

開催日	内 容	出席人数	会 場
1/12	全シ協※1主催高齢者職業紹介責任者講習会	4 人	連合会館

※1 公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

3 安全・適正就業の徹底

安全・適正就業の推進を図るため、安全・適正就業委員会等を開催し、就業現場の巡回を行うとともに、例年通り会員から「安全就業標語」を募集して、最優秀作品のポスター掲示及び会報誌掲載などの取組を行いました。

また、就業中の熱中症対策のため、ネッククーラーを屋外作業に従事する会員を中心に配布するとともに会報誌においても熱中症対策の啓発を行いました。

安全に対する意識向上を図るため、事故の発生状況、状況分析を行い、事故原因の大部分を占める転倒事故への注意喚起を促す記事を会報誌に掲載するなどの取組を行った結果、事故発生状況については、前年度に比べて会員傷害事故は8件と大幅な減少となりましたが、賠償責任事故は2件の増加となりました。

県シ連の川崎市事務所として当センターが行っている労働者派遣事業では、令和4年度に設置した衛生委員会を通年で運営し、健康の保持や健康障害を防止する対策などについて調査審議等を行いました。

◇安全・適正就業委員会等の活動状況

活動項目	開催日	内 容	出席人数	事務所
安全・適正就業委員会	6/29	令和4年度事業報告、令和5年度安全就業標語の選定等	12人	本 部
	2/27	令和6年度事業計画、令和5年度事故発生状況等	11人	
事務所 安全・適正就業対策会議	8/7	令和5年度第1回安全・適正就業委員会報告、熱中症対策、令和6年度巡回計画等	4人	南 部
	2/28	令和5年度第2回安全・適正就業委員会報告、次年度の安全・適正就業実施計画等	4人	
	7/10	令和5年度第1回安全・適正就業委員会報告、熱中症対策、令和6年度巡回計画等	3人	中 部
	3/11	令和5年度第2回安全・適正就業委員会報告、次年度の安全・適正就業実施計画等	4人	
	7/14	令和5年度第1回安全・適正就業委員会報告、熱中症対策、令和6年度巡回計画等	7人	北 部
	3/21	令和5年度第2回安全・適正就業委員会報告、次年度の安全・適正就業実施計画等	9人	
事務所 安全・適正就業対策巡回指導	8/7	清掃作業（バス営業所）	4人	南 部
	2/28	自転車等放置防止対策業務（八丁畷駅）	4人	
	6/1	植木剪定作業（福祉施設）	3人	中 部
	12/20	除草作業（寺院）	3人	
	7/14	自転車等放置防止対策業務（新百合ヶ丘駅）	6人	北 部
	12/12	施設管理業務（学校跡地）	4人	
	3/21	自転車等放置防止対策業務（新百合ヶ丘駅）	5人	

◇安全講習会等の開催及び参加状況

講習名	開催日	内 容	参加人数	会 場
令和5年度 安全就業研修会	8/25	現場の危険を見るポイント と対策の考え方等について	4人	かながわ 労働プラザ

◇安全就業標語等の募集・表彰等

ア 安全就業標語（川崎市SC主催）

(ア) 応募 … 78作品

(イ) 表彰 … 最優秀作品「慣れと過信は事故のもと、守ろう基本と正しい手順」

(ウ) 受賞者 … 尾上 五郎(中部事務所)

◇事故発生状況

事故区分	会員傷害事故	賠償責任事故
発生件数	11件 (19件)	9件 (7件)

※()内は令和4年度発生状況

◇労働者派遣事業における衛生委員会の設置・開催（毎月）

開催日	内 容	出席人数	会 場
4/13	健康診断結果の見方について、職場巡視報告他	7人	本部事務所
5/11	運動習慣について、職場巡視報告他	6人	
6/8	生活習慣病と健康寿命について、職場巡視報告他	6人	
7/13	熱中症予防について、職場巡視報告他	6人	
8/10	救急措置について、職場巡視報告他	7人	
9/14	新型コロナウイルス感染症について 職場巡視報告他	6人	
10/12	腰痛について、職場巡視報告他	7人	
11/9	ヒヤリハット体験事例について、職場巡視報告他	6人	
12/14	インフルエンザ及び免疫力向上のために必要なこと について、職場巡視報告他	6人	
1/11	最新医学でわかった新健康常識、職場巡視報告他	6人	
2/11	フレイル予防について、職場巡視報告他	6人	
3/14	目の健康について、職場巡視報告他	6人	

4 事業推進体制の強化

令和5年度から、公共からの受注業務に関する事務費率を12%に引き上げました。また、昨今の物価高騰を請け、令和6年度からは民間・個人・家庭からの受注についても一律に12%とすることといたしました。

社会全体のデジタル化が進展していることから、当センターにおいても業務の効率化に資する取組や会員のICTリテラシー向上の取組などを行う必要があります。特に会員・センター間の新しいコミュニケーションツールである会員向け専用サイト「Smile to Smile」の活用は、フリーランス法が令和6年11月から施行予定であることに伴い、発注者に対して就業条件の明示が義務化されることから、必要不可欠と考えており、令和6年2月に行った会員アンケート調査票と併せて「Smile to Smile」の案内通知を同封したことで、利用登録者数を大きく伸ばすことができました。

さらなる利用登録者を増やす取組として、現在行っているスマートフォン講習会及び相談会での基本操作や悩み事の解決に対応するとともに、「Smile to Smile」の登録方法や活用方法をカリキュラムに組み込むことを検討しております。

他にも、かわさきSDGsパートナーとして登録を行い、センターの活動を通じてSDGsの達成や川崎市との連携強化に努めました。

◇受託事業等による事務費収入等

	令和4年度	令和5年度	対前年対比
受託事業 受取事務費	91,253,385円	85,970,026円	94.2%
労働者派遣 事業手数料	11,383,874円	※8,205,314円	72.1%

※令和5年度から手数料の配分比が変更になりました。

◇外部による定期経理監査及び決算監査

実施団体	実施内容	実施日
税理士法人河合会計事務所	経理全般に係る適正執行検査及び指導	毎月
	決算に係る適正執行検査及び指導	5/15

◇財政援助団体等監査

実施団体	監査方法	実施期間
川崎市	書類審査、ヒアリング・現地調査	令和5年9月～11月

※かわさき南部斎苑、かわさき北部斎苑の指定管理者としての監査を含む。

◇清掃ボランティア活動実施状況

実施場所	開催日	参加人数	事務所
JR 川崎駅周辺	9/24	11 名	南 部
JR 武蔵溝ノ口駅周辺	9/24	9 名	中 部
小田急新百合ヶ丘駅周辺	9/22	9 名	北 部
合 計		29 名	

◇市民向け講座の実施

実施内容	開催日	内 容	参加人数	開催場所
スマートフォン 講習会	10/18	スマートフォンの基礎知識 習得するための操作と文字 入力、設定、アプリのインス トール方法等について	20 人	てくのかわさき
	1/23		10 人	本部事務所

◇会員向け講座の実施

実施内容	開催日	内 容	参加人数	開催場所
スマートフォン 相談会	11/10	スマートフォンの機能や使 い方に関する悩みごとのサ ポート、「Smile to Smile」 の登録方法等について	4 人	本部事務所
	11/24		4 人	
	12/8		2 人	
	12/22		1 人	
	1/12		1 人	
	1/26		2 人	
	2/2		2 人	
	2/16		1 人	
	3/22		10 人	

◇職員研修等の開催及び出席状況

名 称	開催日	内 容	会 場
NRI システム ユーザー研修会	6/28	Smile to Smile についての各機能 の詳細説明等	オンライン
	7/28	Web 入会・受注チャネル、SilverGo タブレットの各種機能説明等	オンライン
個人情報保護や情報セキュ リティに関するコンプ ライアンス関係の研修会	9/12	個人情報保護や情報セキュ リティに関するコンプライアンス対策等	川崎市複合 福祉センター ふくふく
令和 5 年度職員研修会	12/22	シルバー人材センターからの法的 相談について等	かながわ労働 プラザ
全シ協主催 契約方法の 見直しに関する会計経理 税務に係る説明会	1/11	契約方法の見直しに関する会計経 理税務処理等について	かながわ労働 プラザ
県シ連主催 新たな契約 方式に係る説明会	2/6	新たな契約方式について、制度と 留意点等	かながわ労働 プラザ
令和 5 年度中堅職員研修	2/13 2/14	シルバー人材センターの中堅職員 として果たすべき役割等	連合会館
令和 5 年度 地域活動促進研修	3/7	地域活動の発信に活かすためのパ ソコンでの動画編集方法等	エポック なかはら

◇市及び関係機関との会議等の出席状況

名 称	内 容	開催日	会 場
全シ協 定時総会	全国のセンター連合会及 び拠点役員による法人の 予算・決算執行に関する 協議	6/22	日本教育会館
県シ連 定時総会	県シ連理事による法人業 務執行に関する決議	6/14	かながわ労働プラザ
県シ連 理事会	県シ連理事による法人運 営に関する議事審議等	6/1 11/22 3/14	かながわ労働プラザ
県シ連 事務局長会議	県内事務局長による事業 の取組と情報交換等	5/25 11/8 3/6	かながわ労働プラザ
政令市ブロック会議	新契約方式への対応及び 事務費の引き上げ等	12/7	本部事務所

県シ連 専門部会	新しい契約方式について等	6/1 11/22 3/14	かながわ労働プラザ
県シ連 安全対策検討部会	県内の事故発生状況等について	5/25 3/6	かながわ労働プラザ
県シ連 事故防止委員会	県内の事故発生状況及び対策等について	6/1 3/14	かながわ労働プラザ
政令指定都市 シルバー人材センター 実務者会義	全国の政令指定都市SC実務者による事業の情報交換等	10/19 ～10/20	ダイワロイヤル ネットホテル堺東
政令指定都市 シルバー人材センター 代表者会議	全国の政令指定都市SC理事長・事務局長による事業への取り組み等情報交換	11/16 ～11/17	JR 九州ステーション ホテル小倉
多摩区地域包括支援センター 一連絡会議	地域に根差した活動を展開する地域包括支援センターと連絡を図るとともに、主に家庭での仕事(家事援助、除草、植木)のセンターの現状を説明	10/10	多摩区役所
シルバー人材センター・ 高齢者在宅サービス課 連絡会議	所管課との連絡会議	6/6 11/29	本部事務所
麻生区高齢者見守りネットワーク事業「安心見守りネットワーク情報交換会」	所管課との情報交換	9/8	麻生区役所
第 66 回車座集会 (麻生区)	関係機関との意見交換	3/1	麻生区役所

◇会議等の開催状況

名 称	内 容	開催日	会 場
政策・経営会議	管理者による事業運営上の課題等の協議	毎月	本部事務所
業務担当者会議	担当者による事業運営上の課題等の協議	毎月	本部事務所

5 第3期基本計画の推進及び事業計画目標値の的確な進行管理

令和5年度は第3期基本計画（令和2年度～令和6年度）の4年目となっております。

会員数につきましては、登録会員拡大を目的とした普及啓発活動である区民祭への参加、タウン情報誌への会員募集記事の掲載などの従来からの取組に加え、令和4年度から開始した「家族・友人紹介制度」を通年でPRし、区役所やハローワークでの出張入会説明会を新たに開催するなどの強化を図りましたが、令和5年度末に会員アンケートを実施したことにより、それまで退会を控えていた方から退会の申し出があり、昨年より退会者が増加するなどの影響により基本計画の目標数を下回る結果となりました。

受託事業の契約金額につきましては、市からイベント出店に係るブース設営及びチラシ配布等業務や市営駐輪場の移転に伴う自転車等放置防止・案内業務等の公共受注の新規発注がありました。令和4年末を以て公共からの大口受注が一部終了したことなどの影響もあり、基本計画の目標金額までは届かない結果となりました。

労働者派遣事業につきましては、派遣先の大手スーパーが当センターへの業務発注を一部削減していることなどから、契約金額が減少しました。

減少傾向に歯止めをかけるべく新規受注先の開拓や定年を迎える従業員がいる派遣先に当センターの労働者派遣事業への契約切り替えを勧めるなどしましたが、契約金額を回復するまでには至りませんでした。

令和5年度では、計画策定時とは当センターを取り巻く状況が大きく変化している中、これまでの実績等を検証しながら進行管理を行うことを確認し、計画最終年次に向けてデジタル化推進のための取組等を検討・実施いたしました。

◇会員数（ ）内は補正值

目標	実績	達成率
6,820人（6,620人）	6,515人	95.5%（98.4%）

◇請負受託事業

目標	実績	達成率
955,000,000円	878,465,078円	92.0%

◇労働者派遣事業

目標	実績	達成率
111,040,000円	83,836,924円	75.5%

Ⅱ 公益目的事業—2（葬祭場運営事業）

1 葬祭場運営事業の取組結果

川崎市葬祭場の指定管理者（指定管理期間 令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間）として、公益財団法人川崎市シルバー人材センターと富士建設工業株式会社とで共同体を組み、「かわさき南部斎苑」と「かわさき北部斎苑」の葬祭場運営事業を行っていますが、令和5年度は次の3項目を取組方針とし、葬祭場の業務を遂行しました。

（1）公衆衛生の向上と公共葬祭場としての公平性の確保

令和5年度についても、休苑日である「友引日」のうち、毎年火葬需要が多くなる、夏期（8月～9月）に各斎苑2日、冬期（12月～2月）に各斎苑6日を開苑し、火葬需要に対応することにより公衆衛生の向上に努めました。

加えて、北部斎苑では、休憩室サービス提供業務にシルバー人材センター会員を活用することで、管理棟休憩室の全面稼働が可能となったことから、1日あたりの火葬件数の上限について、これまで24件だったものを12月から25件に、1月から26件に段階的に引き上げました。

さらに、川崎市から北部斎苑を「帰宅困難者一時避難施設」にしたいとの要請を受けましたので、市民生活に重要な役割を果たす葬祭場が、避難施設としての役割に合致していることを鑑み、令和5年8月より指定を受けることといたしました。

また、川崎市が作成した斎苑の利用案内（利用のルール）に基づき業務を遂行し、公共の葬祭場としての公平性を確保しました。駐車場については、利用案内に記載された利用ルールを基本としつつ、限られた駐車スペースを有効に活用するため弾力的な運用を行うことで、極力駐車をお断りしないよう努めました。

（2）質の高い市民サービスの提供

葬祭場の業務を遂行するにあたり、質の高い市民サービスの提供に努めてまいりましたが、利用者アンケート等では、様々なご意見やご要望をいただきました。指定管理者としての対応が可能なことは速やかに対応し、市民サービスの向上に努めました。

また、北部斎苑において、昨年度周辺緑地の枯木が倒壊し、斎苑建物に被害が出たことから、現在川崎市の予算で枯損木の伐採を段階的に実施しています。伐採を効果的に行うため、指定管理者の予算で周辺緑地樹木の調査を行い、計画的な樹木伐採のための基礎資料を作成しました。

（3）適正な業務の遂行と効率的な事業運営

川崎市と当センター及び富士建設工業とで締結している川崎市の葬祭場運営に関する基本協定書、並びに川崎市が作成した南北斎苑の利用案内（一般の方用と葬祭業者様があります。）等に基づき、利用者の方々にご満足いただけるよう適正かつ効率的に業務を遂行しました。

また、令和5年10月19日、誤操作により、北部斎苑4号火葬炉で火災が発生しましたが、直ちに消火活動を行うとともに関係所管への通報・連絡、斎苑内の避

難誘導を速やかに行ったため、人的被害はなく、斎苑運営に大きな影響は生じませんでした。今後、同様の誤操作が起きた場合でも火災が発生しないよう、火葬炉の運行プログラムを改良するとともに、機器操作マニュアルの改善や火葬業務職員全員への研修を行うなど、再発防止策を徹底しました。

なお、新型コロナウイルス感染症で亡くなられた方の火葬は、令和4年12月に火葬受入件数の制限を解除し、さらに令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが感染症法の5類に移行されたことに伴い、一般火葬と区別なく実施しています。

2 葬祭場運営事業の執行体制等

(1) 職員の配置

事務等の管理部門は当センターが、火葬部門については国内各地の火葬場で火葬業務を担っている富士建設工業株式会社が運営しています。

管理部門については、当センター本部に、葬祭場運営事業を統括し、南北斎苑の連絡調整を行う斎苑管理グループリーダー1名と派遣職員1名を配置、円滑に事業運営が行われる体制としています。

かわさき南部斎苑には斎苑長1名、副斎苑長1名、常勤職員1名、嘱託職員4名を、かわさき北部斎苑には斎苑長1名、副斎苑長1名、常勤職員1名、嘱託職員3名、派遣職員1名を配置しました。

両斎苑では斎苑長を含め各7名の職員が、予約の受付、式場の管理、葬祭業者等との連絡調整などの業務を行っています。

火葬部門については、共同体の構成員である富士建設工業株式会社が火葬炉の運転業務・保守点検業務を担い、かわさき南部斎苑には所長1名、主任1名、職員8名の計10名を、かわさき北部斎苑には所長1名、主任1名、職員9名の計11名を配置し、円滑に業務を運営しています。

(2) 葬祭場運営会議

葬祭場に係る管理・運営上の問題や利用者からの要望等に的確に応えるため、川崎市、当センター及び富士建設工業株式会社で構成する葬祭場運営会議を定例的に毎月1回開催し、川崎市からの要請等や両斎苑の抱える課題等について、情報を共有し、課題解決に向けた協議をしています。円滑な事業運営への取組みはもとより、市民サービスの向上に資するように努めました。

(3) 斎苑連絡会議

当センター事務局長、斎苑管理グループリーダー、かわさき南部斎苑長、かわさき北部斎苑長で構成している会議で、当センター本部と南北斎苑の間で情報を共有化し、各斎苑の課題解決、川崎市への要望等の協議をしています。

※各会議の開催状況

名 称	内 容	日 程	会 場
葬祭場運営会議 (川崎市・共同体)	葬祭場運営上の課題等の協議	毎月	川崎市健康福祉局会議室
斎苑連絡会議 (シルバー人材センター)	当センター本部と両斎苑長による会議	毎月	川崎市健康福祉局会議室

3 火葬等業務運営状況

(1) 火葬業務

火葬業務は 火葬の受付、火葬の執行、収骨までを行うもので、令和5年度は年間12,500件を予定していましたが、利用実績はかわさき南部斎苑5,932件、かわさき北部斎苑7,477件の合計13,409件で、達成率は107.3%、昨年度実績との比較では102.8%でした。

特に、北部斎苑では1日あたりの火葬件数の上限を、12月から24件を25件に、さらに1月から26件に引き上げたことにより、昨年度の6,897件から大幅な件数増を達成することができました。

(2) 休憩室貸出業務

休憩室貸出業務は、遺族等の方々に火葬終了までの間、お待ちいただくために休憩室の貸出しを行うものであり、南北両斎苑で年間9,600件の利用を予定していましたが、利用実績はかわさき南部斎苑4,090件、かわさき北部斎苑5,874件の合計9,964件で、達成率は103.8%、昨年度実績との比較では105.9%でした。

(3) 斎場貸出業務

斎場貸出業務は、通夜及び告別式を行うために斎場の貸出しを行うものであり、南北両斎苑で年間2,600件を予定していましたが、利用実績はかわさき南部斎苑1,517件、かわさき北部斎苑1,142件の合計2,659件で、達成率は102.3%、昨年度実績との比較では103.3%でした。

(4) 遺体保管業務

遺体保管業務は、斎場で葬儀をされる場合に、葬儀が行われるまでの間、霊安室において遺体をお預かりする業務であり、南北両斎苑で年間520件を予定していましたが、利用実績はかわさき南部斎苑146件、かわさき北部斎苑314件の合計460件で、達成率は件数で88.5%、昨年度実績との比較では90.9%でした。

(5) 友引日開苑

火葬需要が増加する夏期と冬期に休苑日である友引日の一部を開苑しました。

夏期については、8月から9月に実施し、南部斎苑は8月7日、9月4日の友引日に、北部斎苑は8月17日、9月15日の友引日に開苑しました。

冬期については、12月から2月に実施し、南部斎苑は12月16日、12月28日、1月13日、1月25日、2月11日、2月23日の友引日に、北部斎苑は12月11日、12月22日、1月9日、1月19日、2月6日、2月17日の友

引日に開苑しました。

◇事業実施状況

() は令和4年度実績

区 分	年間計画	実 績	率
火葬件数	12,500 件(12,400 件)	13,409 件(13,041 件)	107.3%(105.2%)
休憩室貸出件数	9,600 件(8,500 件)	9,964 件(9,413 件)	103.8%(110.7%)
斎場貸出件数	2,600 件(2,300 件)	2,659 件(2,573 件)	102.3%(111.9%)
遺体保管件数	520 件(500 件)	460 件(506 件)	88.5%(101.2%)

◇友引日開苑の事業実施状況

() は令和4年度実績

区 分	南部斎苑	北部斎苑	計
火葬件数	131 件 (163 件)	180 件 (183 件)	311 件 (346 件)
休憩室貸出件数	74 件 (89 件)	107 件 (110 件)	181 件 (199 件)
斎場貸出件数	28 件 (33 件)	24 件 (22 件)	52 件 (55 件)
遺体保管件数	4 件 (5 件)	8 件 (6 件)	12 件 (11 件)

開苑日数：令和4年度 南部斎苑夏期2日、北部斎苑夏期2日
 南部斎苑冬期6日、北部斎苑冬期6日 合計16日
 令和5年度 南部斎苑夏期2日、北部斎苑夏期2日
 南部斎苑冬期6日、北部斎苑冬期6日 合計16日

4 葬祭場利用者アンケート

広く利用者のご意見・ご要望をお聞きし、利用者サービスの向上に役立てることができるよう、各斎苑の休憩室やロビー等にアンケート用紙を設置し、葬祭場利用者からサービス毎の満足度やご意見・ご要望をいただいております。

アンケート回答数の向上に向けた取り組みの一環として、北部斎苑で令和6年2月にアンケート用紙を葬儀社を通じてご葬家に手渡しし、返信用封筒又はWebにより回答をいただく方法を実施しました。結果は、577通を配付し、回収139件、回収率24.1%でした。

これにより、令和5年度のアンケート回収数は268件となり、令和4年度の回収数(120件)を大きく上回ったほか、総合的な満足度では「極めて満足」「満足」の合計が89.3%という結果となりました。今後もさらに工夫を重ね、アンケート回収数の増を図ってまいります。

◇総合的な満足度

	極めて満足	満足	どちらとも言えない	あまり満足していない	満足していない	合計
合計	90	126	11	8	7	242
葬家	71	89	6	5	2	173
会葬者	3	7	0	1	1	12
葬儀社	11	24	3	2	1	41
その他・不明	5	6	2	0	3	16

*回答欄にチェックを入れずに回答する方がいるため、合計は268になりません。

総合的な満足度では、「極めて満足」「満足」合計件数が216件89.3%と高い評価をいただきました。

◇サービス毎の満足度

	極めて満足	満足	どちらとも言えない	あまり満足していない	満足していない	合計
駐車場、警備	79	104	29	9	12	233
斎場(式場)	82	103	18	3	5	211
通夜式、葬儀、告別式	70	79	26	1	2	178
休憩室	89	105	18	6	6	224
売店	53	85	42	6	6	192
火葬、収骨	102	104	16	2	4	228
施設の清掃状態等	118	104	4	1	5	232
事務室	61	76	37	1	4	179

サービス毎の満足度では、「施設の清掃状態等」で「極めて満足」「満足」合計件数が222件95.7%、「火葬、収骨」で206件90.4%と高い評価をいただいたのをはじめ、平均でも83.9%の高評価をいただきました。

アンケート用紙の意見記入欄では、ご意見・ご要望・ご感想等を194件いただきました（令和4年度は110件）。内訳は、「きれいな設備だった。」「職員の方々が親切で助けられました。」等のご意見が81件、「冷房が効いておらず暑かった。」等の改善要望・苦情が113件となっており、改善要望・苦情のうち市バスの増便希望や、駐車場の拡張希望等の指定管理者では対応が困難なものが31件、指定管理者が対応可能なものが82件でした。指定管理者が対応可能なものについては、要望に沿った対応、または代替手法で対応したものが63件、要望に沿った対応を見合わせたもの、または対応中のものが19件となっています。

今後も、アンケート用紙の設置場所の増設や、葬祭業者にアンケート用紙を配付するなど、今まで以上にご意見等をいただけるよう努めてまいります。

◇ご意見・ご要望・ご感想等の内訳

ご意見・ご感想	81件
改善要望・苦情	113件
指定管理者では対応が困難なもの	31件
指定管理者が対応可能なもの	82件
要望に沿った対応、または代替手法で対応したもの	63件
要望に沿った対応を見合わせたもの、または対応中のもの	19件
合 計	194件